

拔萃

○世界一ノ大浮船架 フリビン群嶋オローンガボリニ設置セラルヘキ浮船架ハ未タ嘗テ製造セラレサル大船架ナリトス右ハ西班牙政府ノ所有ニ屬スルモノニシテ英國ニユーカーツスルランタインノロバートステフンソン社之カ製造ヲ受負タリ船架ノ長サ四百五十呎幅百十七呎側壁ノ高サ三十八呎六吋ニシテ一万二千噸ノ浮泛力ヲ有シ長サ五百呎迄ノ船舶ヲ上架セシメ得ベシト云フ(インジニアリング)

T N

○千八百九十六年ノ合衆國鐵道建設 合衆國ニ於ケル鐵道事業ハ歐洲人ニ巨利ヲ博セシメタル時代アリシガ今ヤ合衆國人民ハ自ラレール機關車等ヲ製作シ大ニ歐洲人ノ利益ヲ滅殺セリ昨千八百九十六年ノ新設鐵道哩數ヲ既往十年間ト對照スレバ左表ニ示ス所ノ如シ

年	次	新設哩數	年	次	新設哩數
千八百八十七年	一	二、九八三	千八百九十二年	四	一、九二
千八百八十八年	七	一〇六	千八百九十三年	二	六三五
千八百八十九年	五	二三〇	千八百九十四年	一	九四九
千八百九十年	五	六七〇	千八百九十五年	一	八〇三
千八百九十一年	四	二八一	千八百九十六年	一	八〇二

昨年ノ建設ハ善ク國中ニ配分セラレ州并ニ州外地四十九ノ内三十八ハ敷設セラレタリ内最長ノ新設哩數ハカリフォルニア州ニ在リテ八線路ニ百八十四哩ヲ敷設シ次ハルウイジアナニ

シテ五線路ニ百五十四哩ヲ敷設シ次ハミシガンニシテ百四十六哩其線路十一(中略等ナリトス而シテ合衆國鐵道ノ總哩數ハ幾分カ十八万二千八百哩ニ超過セリ (Engineering Review and Metal Worker)

○電氣器械圖

電氣應用ノ日ニ開クルニ隨ヒ簡明ナル電氣器械圖ヲ造リ以テ其應用法ヲ學ブノ便ニ供スルハ益々目下ノ急務トナレリ而シテ該圖ヲ造リシ者ノ中フランシス、ビー、クロツカー氏ハ最モ有益ナル圖ヲ製シタル人ニシテ其圖ハ千八百九十一年エレクトリカル、イソンジニアノ紙上ニ登載セラレ後ハウストン氏ノ電氣學辭書ニ再版セラレ終ニ編纂セラレテコロムビア大學ニ用ヒラル、ニ至レリ右ハ僅ニ六年前ニ造リタルモノナルニ拘ハラズ學術ノ進歩ハ剛馬モ及バザル程ナレバ中ニハ不用ニ歸シタルモノナキニ非ラズ且右ノ六年間電氣ノ應用大ニ開ケタルヲ以テ始メテ造ルベキ新圖モ亦多シ左圖ハ近着ノサイエンチファイック、アメリカンニ登載セラル、モノニシテ頗ル有益ト認ムルヲ以テ之レヲ茲ニ轉載ス

○ケース氏ノ新發電法

電池ニ熱ヲ生セズシテ炭素ヲ酸化シ以テ電氣ヲ發生セシムルコトハ數年間ウヰリアム、イー、ケース氏 (William F. Case) ノ研究セシ所ナリシガ氏ハ其法ヲ案出シ紐育電氣學會ノ集會ニ於テ之ヲ公ケニシタリ氏ハ其際器械ヲ携帶シ聽衆ノ眼前ニテ實驗ヲ行ヒシガ其所用ノ電瓶ハ氏ノ發明シタルモノナリキ而シテ錫板ト白金板トヲ電極トナシ炭素ト藥品トヲ接觸セシメシニ炭素ハ酸化セラレテ電氣ヲ發生シ電瓶ヨリ出タル針金ヲ通シテ電動機ヲ運轉セリ試驗中屢々寒暖計ヲ用ヒテ熱度ヲ測リシニ毫モ發熱ノ徵候ナク化學的エネルギーノ全ク電氣ニ變ジタルヲ示シタリケース氏ハ此試驗ヲ終リシ后動物ノ吸息シタル